

汐見台2号水路(雨水吐出口)における水質事故(白濁水の流出) の原因物質について【第5報(最終報)】

令和7年7月6日(日)に発生した茅ヶ崎市汐見台の2号水路(雨水吐出口)で白濁水の流出が確認された水質事故について、流出した物質が特定されましたので、ご報告いたします。

1 流出物質

- ①事業所内容器に残留していたのり材料(ラテックス)
- ②粉末消火薬剤
- ③構内の清掃作業で発生したコンクリートガラ等の粉じん

2 流出物質の解説

- ①ラ テ ッ ク ス : 塗料や接着剤、手袋など幅広く使われる水系ゴム乳液で、製造業等によく利用されています。また、河川や下水道などに流出すると少量でも広範囲に渡り白濁する場合があります。
- ②粉末消火薬剤 : 火災時等に使用される消火器内に充填されている消火薬剤であり、著しい毒性又は腐食性のあるガスを発生しないものであって、粉末状のものは塊状化、変質その他異常を生じないものが使用されています。
- ③コンクリート : 土木・建築材料として広く利用されており、セメント由来の石灰分が残っているため、一般的に水溶液の状態ではアルカリ性を示します。

3 今後の対応

流出の原因となった事業所の構内清掃作業はすべて完了しておりますが、回収した白濁水の適正処理および構内管理について、必要な指導をしてまいります。